

MOKリバLite よくある質問 (FAQ)

## 7. 養生用品について

メディアの飛散防止と清掃の手間を考慮し、床と壁はスペランマスカーなど厚手のマスカーで養生し、床面はその上からブルーシートを敷くことをお勧めします。

ガラスや樹脂などが隣接する箇所については、マスカーの上からパイオランテープなどを重ね張りし、養生を補強してください。

しつくい壁などテープの粘着が効かない対象物は、ベニヤ板などで養生してください。

#### 8. 施工者の保護具について

MOKリバメディアが目に入ると怪我をする恐れがあり、衣服や髪に付着すると取れづらく、周囲を汚す場合があります。以下の保護具の着用をお勧めします。

推奨保護具: フェイスマスク(ゴーグルの場合、無気孔タイプ推奨)、ポケットが無い長いつなぎ、グローブ、短丈ブーツ、耳栓

特殊な性能は必要ありません。お手持ちのものをご使用ください。

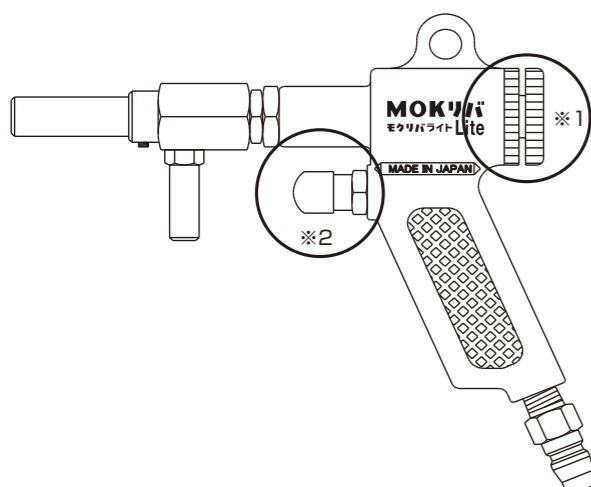
注意: 空調服はメディアが詰まるため、使用はお控えください。

## 9 機械故障時の対応について

交換用パーツをお買い求めいただけます。故障時は大谷塗料までご相談ください。

各パートの着脱は一般的な工具で簡単に可能ですので、お客様ご自身での取り換えをお願いしております。

パーティ交換の可能性があると考えられる箇所は以下の通りです。



\*1 ガンボディ部と調整ノブのシャフト部分の隙間: メディアが入り込み、ネジが噛んだ状態になり、破損する可能性があります。

※2 エアーバルブ周辺:  
落下などの衝撃によりエアーバルブ内のシャフトが  
折れ、キャップが取れた状態となる可能性があります。  
エアーバルブのキャップの隙間にメディアが入り込み、  
押しボタンの戻りが悪くなる可能性があります。

MOKリバLiteについて、ご質問や今後改善を期待する点などございましたら右→の電話番号もしくはメールアドレスへお気軽にご連絡ください。

MOKリバLite改善担当窓口:増田  
e-mail:wz-sokushin@otanipaint.com  
Mobile:090-2984-2770



大阪本社 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目1番18号  
TEL 06(6976)0251(代) FAX 06(6971)4901

東京支店 〒357-0023 埼玉県飯能市岩沢170  
TEL 042(974)3191 FAX 042(974)2888

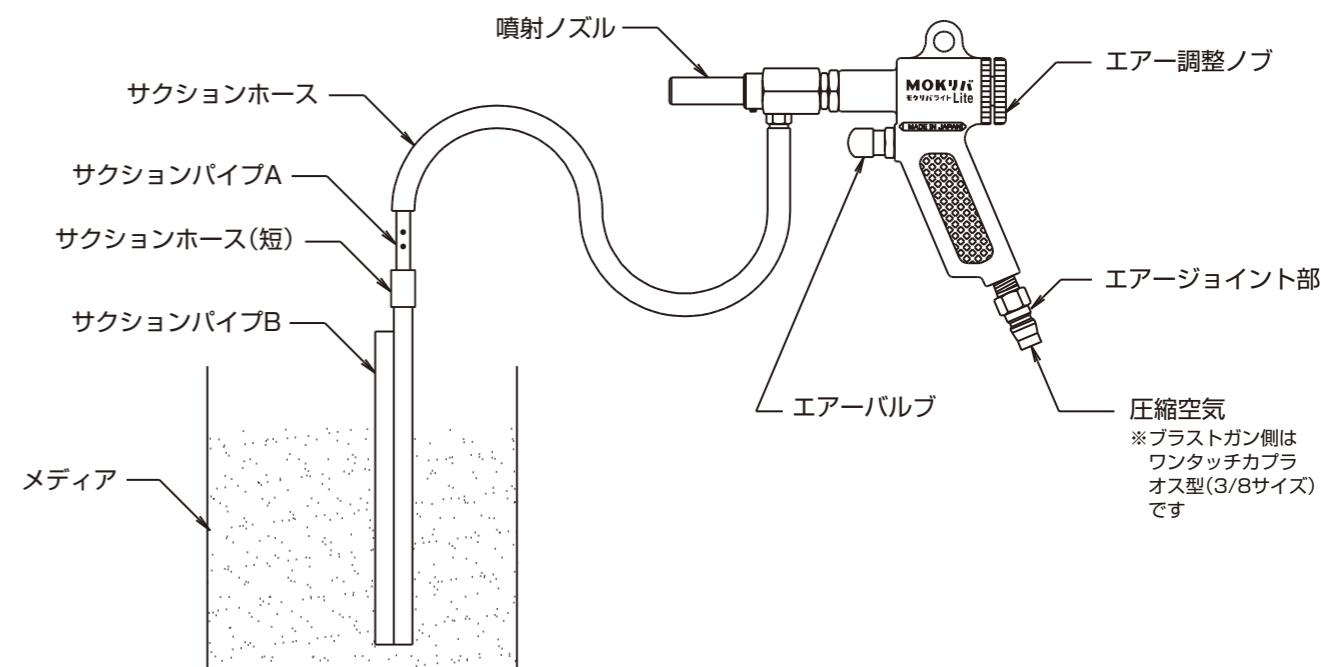
九州営業所 TEL 0964(22)1903 FAX 0964(22)1799

熊本工場 TEL 0964(22)4745 FAX 0964(22)4746  
ISO9001/14001 認証工場

URL <https://otanipaint.com/>

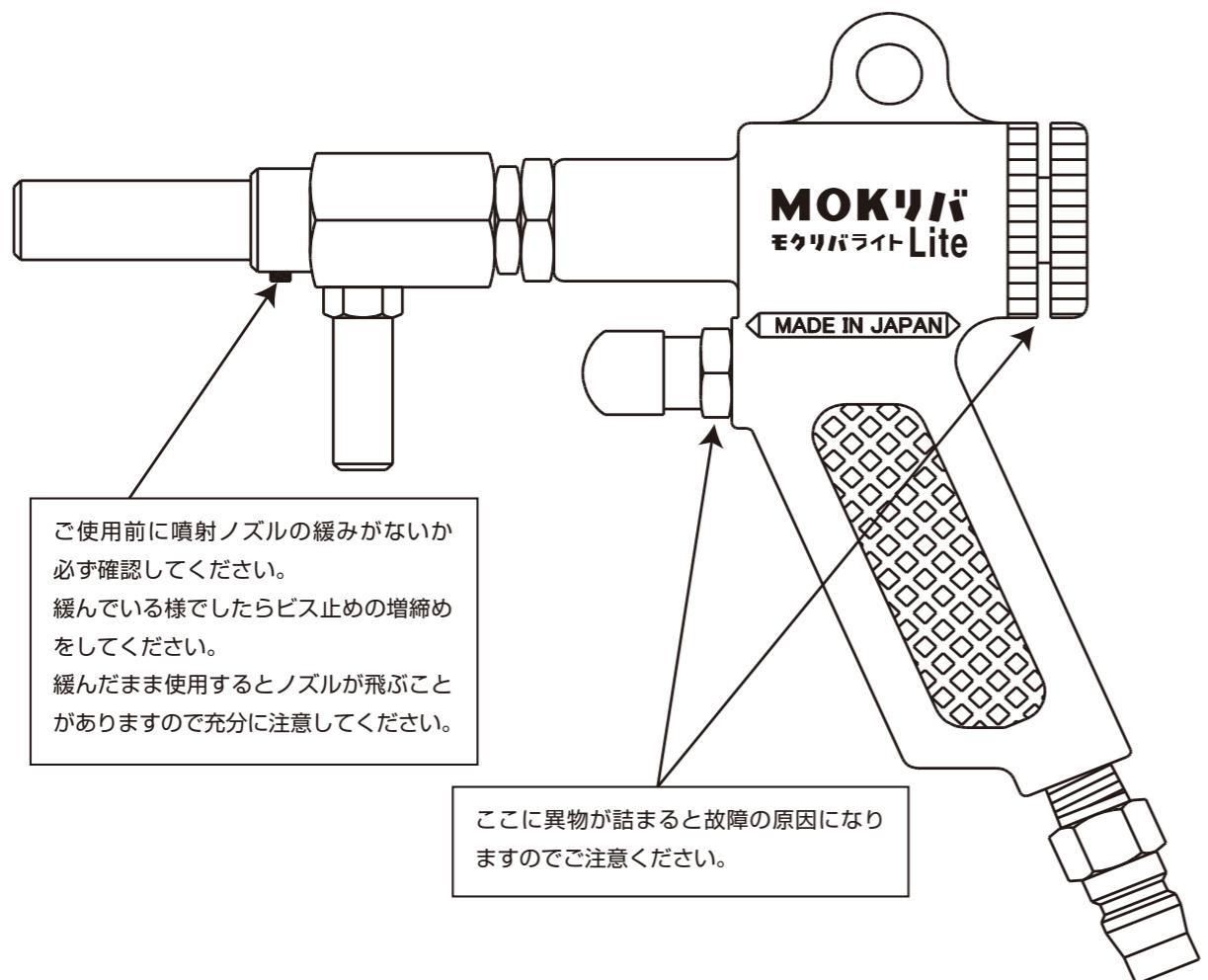
## MOKリバLite 使用方法

- ①MOKリバLiteガンに圧縮空気(コンプレッサーホース)を接続します。  
エアホースは内径6.5mm以上、かつ長さ10m以内のものをお使いください
  - ②MOKリバLiteガン下部のサクションノズルにサクションホースを接続し、ホースバンドで締めます。
  - ③「サクションホースとサクションパイプA」を接続し、ホースバンドで締めます。その後、「サクションパイプAとサクションホース(短)」を接続し、ホースバンドで締めます。最後に、「サクションホース(短)とサクションパイプB」を接続し、ホースバンドで締めます。
  - ④メディア袋へ直接、またはペール缶やバケツ等にメディアを入れサクションパイプBを差し込みます。  
サクションパイプBのホースを差し込んでいない方の穴(下図参照)およびサクションパイプAの横穴2つは吸気口ですので、メディアに埋没しないようにしてください。
  - ⑤エアー調整ノブを開放します。  
基本的には全開状態での使用を想定していますが、研削が強すぎる場合はノブを締めて調整してください。  
(ノブを反時計回りに2周半回転すると全開になります)  
研削力調整はコンプレッサー側でエアーアダプターを調整いただいても構いません。  
(標準エアーアダプターは吐出時0.5mPa以上です)
  - ⑥エアーバルブを引くとメディアが吸引され先端の噴射ノズルから噴射されます。  
対象物との距離はガン先から10cm以内が目安です。  
垂直にブラストを当てるより斜めに当てる方が効率の良い場合もあります。
  - ⑦作業終了後、ブラストガン内部のメディアを完全に出し切ってください。  
内部にメディアが残っている場合エアーバルブ等の故障の原因になります。  
メディアを出し切った後、エアーアダプターをゆるめて外し、ネジ部に付着したメディアをきれいに取り除いてください。
  - ⑧ブラストの後は、ブラストガンのカラ吹きなどで粉払いをしてから塗装してください。  
ブラストされた状態の木地は、そのまま屋外曝露すると早期に劣化・変色してしまいます。  
そのため「MOKリバブラスト工法」はブラスト後の保護塗装までを1セットとしております。  
本品初回セットに資料を同梱しております弊社の塗料各種は、ブラスト後の塗装適性を確認している推奨製品ですので、塗料選定の際にはご参考ください。



## MOKリバLite 使用上の注意

- ご使用前に必ず各部品が緩んでいないか点検してください。  
可動部分に異物が挟まると動かなくなりますのでご注意ください。
- メディアの目詰まりによる故障を予防するため、ご使用後には必ずサクションホースおよびガン内部のメディアを全て出し切ってください。その後エアー調整ノブをゆるめて外し、ネジ部に付着したメディアをきれいに取り除いてください。



- エアージョイント部は、2分のPSネジです。  
ニップルを交換する場合、シールテープを使用し軽く締めてください。  
必要以上に締めると雌ネジが割れる場合があります。
- 空気圧力は、0.9 MPa以下でご使用ください。
- ご使用の時には保護眼鏡や手袋などをご使用ください。
- 人に向けて使用しないで下さい。
- 指定のメディア以外は吸引しないで下さい。
- 耳元で使用しないで下さい。騒音で難聴になることがあります。
- 幼児の手が届くところに置かないで下さい。
- 本商品は国内専用です。国外でのご使用はご遠慮ください。
- 本用途以外でのご使用はお止めください。
- ご使用方法でご不明な場合は、使用を中止して大谷塗料へお問い合わせください。

## MOKリバLite よくある質問 (FAQ)

1. メディアの消費量と再利用について  
1m<sup>2</sup>のブラストあたり10~12kgを消費します。(想定作業時間:30分程度)  
10kgのメディア1袋あたり、0.8~1m<sup>2</sup>の処理が可能です。  
※杉の新材に弊社半造膜型木材保護塗料「ソワードステイン」2回塗りしたものをブラストして計測した数値を基にして  
います。基材や塗膜が異なると結果が変わることがございますので、目安としてお考え下さい。  
※「サクションパイプA」の部分を使用せず、「サクションパイプB」のみで使用する場合、施工速度は短くなります。  
メディア消費量は多くなります。(1m<sup>2</sup>処理あたり目安:作業時間→20分、メディア消費量→14kg~17kg)  
・メディアは再利用できますか?  
メディアの再利用は可能です。ただし、再利用を繰り返すと、メディアがブラストの衝撃で粉碎されて細かく  
なることや、木粉が混ざることにより、徐々に研削力が低下します。  
どこまで再利用できるかは、お客様が要求される研削力によって異なりますので、現場でご判断ください。  
弊社の経験上、少なくとも1回の再利用であれば、大きな研削力低下は見られません。  
ガンの詰まりや破損を防ぐため、再利用する際は、目の細かいザルなどで小石や木片を必ず取り除いてください。
2. 設計価格と推奨される使用方法  
設計価格は1,900円/m (5cm幅)です。  
上記の通りメディア消費量が多いため、実際の使用シーンとしては外壁一面をすべてブラストするのではなく、  
サンダーとの併用をお勧めします。  
具体的には、研磨では時間がかかる入隅や、複雑な形状の箇所を部分的にブラストする、という使い方が効果的です。  
大面積のブラストが必要な場合は、従来型のタンク式「MOKリバブラスト」をご検討下さい。
3. ブラスト面と研磨面の仕上がりの違い(特に、浸透型着色塗料の着色仕上がりの違い)  
アクションサンダー(番手#60または80)で研磨することで、MOKリバLiteでブラストした状態と近しい  
仕上がりを得やすくなります。  
#180など番手の細かいペーパーを使用すると、仕上がりが大きく異なる可能性がございますのでご注意ください。  
※基材の種類や研磨の程度、使用する塗料によっても変わりますので、目安としてお考え下さい。
4. 塗膜の剥離能力  
・どこまでの塗膜が剥離できますか?  
杉基材の場合:  
木材保護塗料は、浸透型、半造膜型、造膜型いずれの活膜も剥離可能です。  
外部用弱溶剤系一液型ウレタンを杉に2回塗り・塗装後2週間経過)も剥離可能でした。  
玄関ドア想定の塗装(タモ基材)の場合:  
大谷塗料製品の「外部用一液油性ウレタンクリヤー」、「セーフティワルツ ネオデラック6060」、「車両用2液  
ウレタン」で実験しており、いずれも時間をかけなければ剥離可能です。ただし時間がかかるため、広範囲の面剥離  
には向かず、線の剥離など部分的な使用を推奨します。
5. 木材の汚れ除去能力  
表層の浅い箇所に発生している汚れ(カビ、苔など)であれば、基本的に剥離可能です。  
木材の深層に及ぶシミや変色(アカ、水シミなど)は、落としきれない場合があります。その場合は、必要に応じ  
て薬品洗浄を併用してください。
6. 使用するコンプレッサー、エアホースの選定  
ブラスト吐出時の圧力が0.5 MPaを下回らないものであれば、メーカーと品番は問いません。  
【参考】弊社社内テストで使用しているコンプレッサー:明治機械「GE-22DS」(原動機定格出力:3PS、  
吐出し空気量:305 L/min)  
重要: 使用前・使用中は、適宜ドレン抜きを行ってください。ガン内部が湿るとメディアが詰まる原因となります。  
エアホースは内径6.5 mm以上、かつ長さ10 m以内のものを使いください。  
サブタンクを間に挟むことで延長も可能ですが、その際も吐出時の空気圧が0.5 MPaを下回らないよう、  
必ずご確認ください。